

## テトラサイクリン歯のホワイトニングの注意事項

テトラサイクリン歯は、歯ができる0～6歳ころに服用したテトラサイクリン系の抗生物質によって象牙質に起こる着色です。ホワイトニングは、この着色を化学的に分解する方法ですので、全く効果がないということはありませんが、エナメル質内の着色に比べて、象牙質の着色の改善は難しく、色が濃い場合や歯の根元などの着色は肉眼ではほとんど色に変化がない場合もあります。

テトラサイクリン歯でホワイトニングが難しい場合は、パーマネントマニキュアやホワイトスカルプチャー、ラミネートベニヤなどをお勧めしております。どうしてもホワイトニングで白くされたい場合には、以下の注意事項を十分ご理解の上、ホワイトニングをお受けいただきますようお願いいたします。

- ・黄色系は比較的薄くなりやすいのですが、濃い茶色やオレンジ、グレー系の色は白くすることが難しく、効果があってもその色が薄くなる程度です。
- ・歯の根元付近の着色は歯の先端部分の着色よりも効果が弱く、歯の縞やグラデーションは肉眼では変化がない場合があります。
- ・ホワイトニング直後は、歯が乾燥しているため、エナメル質表面が白っぽく見えています。これは歯の表面に水分が戻ってくると表面の白っぽさがなくなってくるため、色が戻ったと感じられます。特にテトラサイクリン歯は象牙質に着色しているため、この色戻りが大きく感じられます。エナメル質に水分が戻って、エナメル質の色が落ち着いてきたときの色が、本来のホワイトニング後の色です。ご理解をお願いします。
- ・テトラサイクリン歯は、紫外線によって変色が強くなるため、通常の歯に比べて色戻りが速くなってしまいます。通常より早めのメンテナンスをお勧めいたします。
- ・テトラサイクリン歯をホワイトニングで改善する場合は、原則オフィスホワイトニングとホームホワイトニングを組み合わせる「ダブルホワイトニング」をお勧めしております。ただしダブルホワイトニングでも着色の濃さや場所によっては、改善が難しい場合があります。

以上を十分ご理解いただいた上でホワイトニングをお受けいただきますよう、お願いいたします。なおホワイトニングは施術代となっておりますので、ご希望の白さにならなかった場合や、ほとんど効果がなかった場合でもご返金などを行うことができません。あらかじめご了承くださいませよう、お願い申し上げます。